

# 2016年度CSR全社活動実績

◆従来取組 ◆レベルアップ取組 ★新規取組

	重点実施事項	キーワード	達成方策	達成状況	課題	評価	
社会貢献・事業運営	1. お客様のエコ志向に対応する商品、技術開発・提供	<b>資源の有効活用、顧客ニーズ(軽量化、省使用化等)へのフロントローディング参画、安心・安全な社会に向けた取組みの強化</b>					○
		省資源	★省Mo浸炭用鋼の客先適用(試作・試験)拡大(歯車、CVTシブ等)	製造課題目処付け完、順次適用拡大	製品レポートリー拡大、展開拡大		
		高強度・軽量化	★次世代高強度板ばね用鋼:量産品質確保での号口化	現行材の置換え(Step1)量産開始	高強度仕様ばね(Step2)製品化		
		水素社会	◆次期MIRAI向け高圧水素用ステンレス鋼開発(快削化・省合金化)	AS図面織込み、試作採用	顧客計画に即した材料供給		
		社会インフラ	◆ステンレス鉄筋:適用拡大に向けたPR活動推進(顧客訪問・展示会強化)	適用事例12件超	商品PR強化		
		高効率・小型化	★MF特徴を活かしたモータ開発	競争力あるMF設計完了し試作へ移行	試作モータ特性評価による設計検証		
	2. 環境調和型モノづくり改革と資源リサイクルでの貢献	<b>資源リサイクル+αの付加価値を持った製品開発と商品化、リサイクル技術確立</b>					○
		資源循環システム構築	◆他社を差別化・凌駕するリサイクル技術とゴールキーピング	工事着工に若干の遅れあるも巻き返し	商品化のしきみ構築		
			・スラグ研削材:「ASショット」2号機建設・立上げ	インジェクション500t/月、瓦礫分別推進	瓦礫分別安全確保と分別費用低減		
			・スラグ・ダスト・瓦礫の有効利用と社内リサイクル推進	排出シート運用開始、知多工場移管	—		
	3. 環境・社会貢献に繋がる地域活動の展開	<b>情報発信力強化・発信ツール整備による企業認知度・魅力度向上、顧客・地域における存在価値ある企業としての地位確立</b>					○
		情報発信力	◆情報発信力強化・継続(メディア、Webサイト・会社案内リニューアル)	テレビCM、看板広告による企業PR実施	あらゆるメディアを駆使した企業PR		
		魅せる・遺す会社づくり	◆ビジターセンター新設、工場視察時の理解促進ツール整備による当社PR強化	1.8事故対応のお客様への理解度向上	ビジターセンター・工場見学連携		
		社会貢献	★社会貢献活動の目玉となる活動計画立案(トヨタG・NPO・行政との連携)	鉄の教室継続開催、ピオトープ設置完了	近隣企業・NPOと連携した環境貢献		
		地域貢献	◆寄付・地域行事への積極参画による地域連携強化	地域行事への積極参加、地域懇談会の実施	地域住民との更なる信頼関係構築		
有効活用		◆ボランティア基金運営の抜本見直し(運営方法、寄付先再検討)	新規寄付先開拓、資金集め活動の実施	ボランティア基金の収入確保			
4. グローバル化への対応	<b>グローバル貢献、収益基盤強化に向けた本社マザー/海外拠点の役割・使命明確化、コミュニケーション基盤強化</b>					△	
	収益基盤強化	◆年計目標達成による拠点立地国への貢献と連結収益力強化	実績:0.2億円(計画:6.3億円)	為替影響ミニマイズ化、限量経営対応			
	マザー活動	★「マザー」の再定義と課題洗い出し、および本社機能・役割明確化	グローバルミーティング実施による親子役割と課題の抽出	抽出課題・方策の計画的推進			
	機能強化	◆機能・役割に従ったマザー活動の計画的な推進	各拠点支援プランの部方針織込み完了	各拠点課題への継続的支援			
	拡販	◆顧客現調化動向を踏まえたフロントローディングによる拡販活動強化	受注検討会の促進で計画通り進捗	見積戦略構築と市場開拓力強化			
5. 連結経営力強化	<b>連結戦略企画立案、収益基盤強化に向けたマザー機能の発揮、本社・子会社間コミュニケーション強化</b>					△	
	連結戦略強化	★戦略本部長会議の活用による国内子会社連結戦略立案	個別将来構想検討着手	事業連携強化によるシナジー創出			
	事業基盤	◆連結経営推進会議推進:国内子会社年計立案・フォローによる事業基盤強化	利益目標ほぼ達成	コア事業強化と新分野拡大検討			
	コミュニケーション	◆「実務者情報共有会」の継続開催による課題・困り事吸い上げ、対策推進	実績1回(1.8事故対応を優先)	有益テーマ探索、継続・定期開催			
リスクマネジメント・コンプライアンス	6. 関連取引先含めたCSR方針の浸透と徹底	<b>グループ社員一人ひとりの真のCSR意識・行動強化、CSR基盤強化に向けた本社マザー機能強化</b>					△
		グループ全体でのCSR活動再徹底	◆愛知製鋼CSR活動のグループ各社への横展と共同推進	グループを巻き込んだCSR活動を推進	グループ全体でのいっそうのCSR基盤強化		
	7. 天災、外部環境変化等で自社で防ぐことのできないリスク対応	<b>ハード・ソフト両面での防災機能・意識強化、非常時に迅速・的確に対応できる備えの強化と推進</b>					△
		防災施設整備	◆新本館完工:防災機能を兼ね備えた施設完工と使いこなし施策推進	新本館(免震構造)の完工、業務開始	全社防災拠点としての整備強化		
		防災・復旧体制再整備	◆大震災発生時の防災・復旧体制抜本見直し(組織見直し+推進力強化)	ソフト・ハード・生産復旧分科会活動の推進	生産復旧分科会のステップアッププラン活動への移行		
		防災訓練レベルアップ	◆社員の防災意識再徹底:防災情報定期配信等、意識向上活動強化	防災ニュース発行、熊本地震の分析周知	タイムリーな防災情報の周知		
	8. 自社制御可能なリスク対応	<b>「1.8」事故を教訓としたリスク対応仕組みの再構築、ガバナンス・企業価値向上への課題対応強化</b>					△
		* 2棟鋼事故の教訓	★安全、品質、営業・生産管理機能強化に向けた課題抽出と対策計画推進	ステップアッププラン骨太4本柱活動の実施	ステップアッププランの実行と効果の確認		
			★リスク発生時の初動対応マニュアル再整備・メディアトレーニング継続実施	マニュアル未完、トレーニング実施に至らず	計画見直しと着実な実行		
		* ゼロからの再出発	★事故を忘れない・風化させないための各種企画立案と実施	1.8を忘れない意識の共有(イベント、宣言など)	1.8を忘れない企画の継続実施		
* 事業継続		◆2棟鋼事故を教訓としたBCP/BAP/生産復旧の抜本見直し	ステップアッププラン:代替生産の標準化完了	代替生産標準化の横展			
* 1S再徹底		◆1S(安全・清掃・正直)意識の業務落とし込みによる事故再発防止	勉強会・講演会を通じたルール遵守の徹底活動の実施	ルール遵守意識の更なる向上			
* ステップアッププランを含む活動	* リスクマップ	◆グループ全体のリスクマップ作成とリスク管理レベル強化	各部門、子会社のリスクマップ作成遅れ	各部門・子会社のリスクマップ作成完了			
	* 機密管理	◆グループ管理基盤強化への対策・施策推進(情報漏洩防止、海外子会社ATSG)	情報セキュリティ運用強化開始	グループ全体の機密管理レベル強化			
	* ガバナンス	◆コーポレートガバナンスコード:残課題の計画的な対応	CG報告書の東証への提出完了	CGコードのガバナンスへの積極活用			
人材育成・企業風土	9. 仕事の質を高める人材育成とグローバルな事業展開に対応した人材の育成	<b>次の次までを見据えた計画的な人材育成によるマネジメント・業務遂行力の更なる向上、多様な働き方を支える仕組み・環境整備</b>					△
		連結人材戦略	★中長期海外派遣計画(サクセッションプラン)の仕組み構築と推進	サクセッションプラン策定し各事業体と合意	現地法人と帰任・赴任時期の確定		
		連結基盤強化	◆国内子会社との定期人事労務情報交換によるCSR意識の向上	不定期コミュニケーションにとどまる	定期コミュニケーション可能な仕組み構築		
		グローバル人材	◆グローバル人材育成へのOT研修制度見直し(若手人材育成強化)	新制度にて若手社員1名派遣予定(4月)	積極的なOT研修制度の活用		
		技術人材	◆アイチ技術者としての必要技術領域精査と基礎習得定着化	必要技術領域定義策定完了	技術レベル向上活動の施策		
		風土改革	◆工場組織見直しによる「教え教えられる」環境整備とルール遵守再徹底	工場組織改定案検討途上	工場と連携し具体的な組織見直し		
		ワークスタイル改革	◆新本館での抜本的な働き方改革実践によるスタッフ生産性・労働意欲向上	無線LAN化等環境整備完了	新本館の使いこなしによる能力発揮		
		コミュニケーション	★従業員コミュニケーション活性化を狙いとした新厚生会館基本構想企画立案	厚生会館基本構想を明示・確認	基本構想に沿った具体(案)の策定		
		◆ダイバーシティ推進での働き甲斐向上(女性活躍推進、障がい者雇用、加齢化対応)	障がい者雇用率'17年4月 2.49%見込み	女性活躍推進施策の検討遅れ			
	10. 安全・快適な職場づくり	<b>今一度原点・基本に立ち返り、ハード・ソフト両面での「安全対策・安全意識」強化と施策の計画的な推進</b>					○
安全意識・風土		◆全員参加・対話重視による「ルールを大切に作る人づくり」推進	総対話活動実施、課題整理	意識・風土改革の実践			
殻破り		◆「アイチ常識⇔社会非常識」目線・意識での設備・仕組み/ルール再点検	工場総点検とトップによる現地現物点検実施	第三者の目線での現場点検			
コミュニケーション		◆「正しく止める活動」の展開	「正しく止める」特別異常処置教育実施	指先挟まれ災害の防止			
手順容易化		◆やりにくい作業、守りにくい作業の改善	やりにくい作業・守りにくい作業洗い出し	洗い出された項目の改善			
フェイルセーフ		◆安全な場づくり:安全度評価とDランク設備の排除	1.8再発防止予算(ステップゼロ)の実行	ステップ1の計画と実行			
		ーロックアウト、とんでもない災害防止、ボカコケ、フェイルセーフ推進ー	安全な場づくり中計に沿った改善実施	中計テーマの遅滞なき推進			